

いきいき元気GO!

広島県医療労働組合連合会
女性部ニュース

NO, 114

2010,1,25 発行

看護職員の労働実態調査の結果報告!

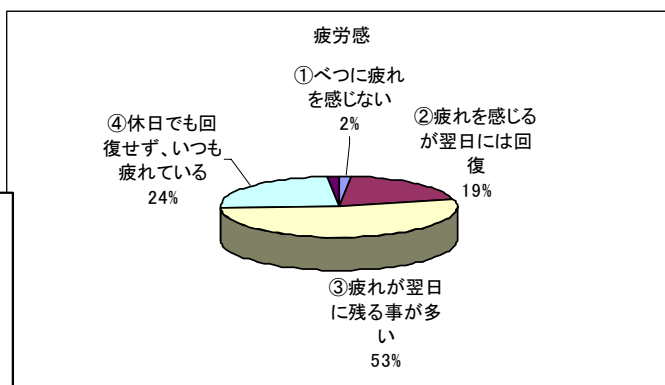
日本医労連の「看護職員実態調査」が 828 枚集まりました。調査項目の内、基礎項目・健康状態・女性の母性保護に関係する項目を集約しました。

【調査組織】広島市民 381・安佐市民 318・広大 5・広島医療生協 124 合計 828 枚

*自分の事業体(組織)を間違ってる人がたくさんいました(◎-◎)

【職種・性別】看護師 95.9% ・女性 96.3%

【疲労感】「翌日にも疲れを残し、休日でも回復しない疲れ、『慢性疲労』を訴えている人が」77.5%



【仕事での強い不満やストレス】「職場での強い不満やストレスを訴えている人が」69.2%。

【ストレスの原因】

★第1位, 仕事の量 49.9% 第2位, 仕事の質 30.9%
第3位, 仕事の適性 27.4%・人間関係 27.2%

【常用している薬】いつも薬を飲んでいる人は53%。

★第1位は鎮痛剤 32.4% 第2位, ビタミン剤←これは美容と健康の為かも 第3位, 胃腸薬 第4位, 暖下剤

【最近の症状】828人中766人92.5%の人が何かしらの身体症状を訴えています。

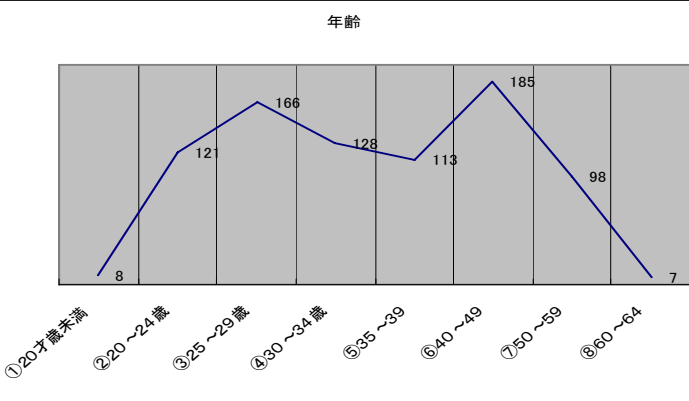
★第1位, 体が怠い 56.3% 第2, 眼が疲れる 46.0% 第3, 腰痛 41.4% 第4, 憂鬱な気分 36.8% 第5, なんとなくイライラ 36.5% 第6, いつも眠い 36.0%

【生理休暇】取っている人は僅か1.3%で「生理休暇はもはや絵に描いた餅状態」になっています。

【妊娠時の状況】妊娠が順調だった人は僅か12.5%。不調だった人は88%。またその内、妊娠時、夜勤免除などの措置を受けた人はわずか32%となっています。

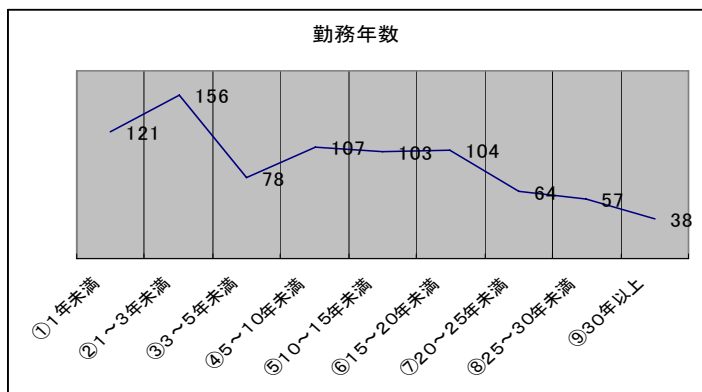
675人中
わずか
3人!

若い世代にも拘わらず、心身共に疲れ切っている看護現場の異常な事態が明らかになりました。「安全で行きとどいた医療・看護」の実現の為にも看護師自身が健康で「仕事も子育ても両立して働きつづけられる」職場づくりが緊急に求められています。



【年齢】日本女性の年齢総別労働率は、出産・子育ての期の30代に低くなるM字型のカーブを描いています。医療の現場も同じように35~39歳が底となっています。

【勤務年数】平均勤続11.7年。10年以下の人が55.8%・10年以上の人が44.2%となっています。



【勤務形態】85%の人が3交替制・当直など「日勤以外」夜勤や不規則交替制勤務をしています。

【健康状態】病人を看護する職種でありながら「自身自身の健康不安を抱えている人」が68.2%。